

資料提供
令和7年11月26日
課名 環境保全課
担当者 秋山
内線 2916
直通電話 082-513-2918

長谷川流域における有機フッ素化合物の調査結果について

1 概要

- 本年9月9日に、呉市が長谷川等の河川や水路において実施した水質調査の結果、有機フッ素化合物（以下「PFOS等」という。）が指針値50ng/L※を超過していることが確認（96ng/L～990ng/L）された。
- このため、県、呉市及び東広島市が連携し、超過地点の周辺地域における追加調査を実施したところ、新たに、東広島市域の水路1地点と呉市域の長谷川2地点において、PFOS等が指針値を超過（84ng/L～1,000ng/L）していることを確認した。

※ 体重50kgの人が一生涯、毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば健康に悪影響が生じないと考えられる水準

2 調査結果

(1) 調査実施日

令和7年10月29日

(2) 調査結果（調査地点は別図参照）

- 今回の調査により、新たに、東広島市域の水路1地点と、呉市域の長谷川2地点で、PFOS等が指針値を超過していることを確認した。

調査地点	濃度 (ng/L)			調査機関	指針値
	PFOS 及び PFOA (合算値)※	PFOS	PFOA		
① 水路	0.8	0.2	0.6	県・東広島市	50ng/L PFOS 及び PFOA (合算値)
② 水路	1,000	66	930		
③ 西長谷川	2.0	0.9	1.0		
④ 惣引谷川	4.1	0.5	3.5		
⑤ 長谷川	95	7.5	88		
⑥ 長谷川	84	11	73		
⑦ 山王川	1.6	0.6	1.0		
⑧ 黒瀬川	10	3.2	7.5		
⑨ 黒瀬川	11	3.6	8.1		

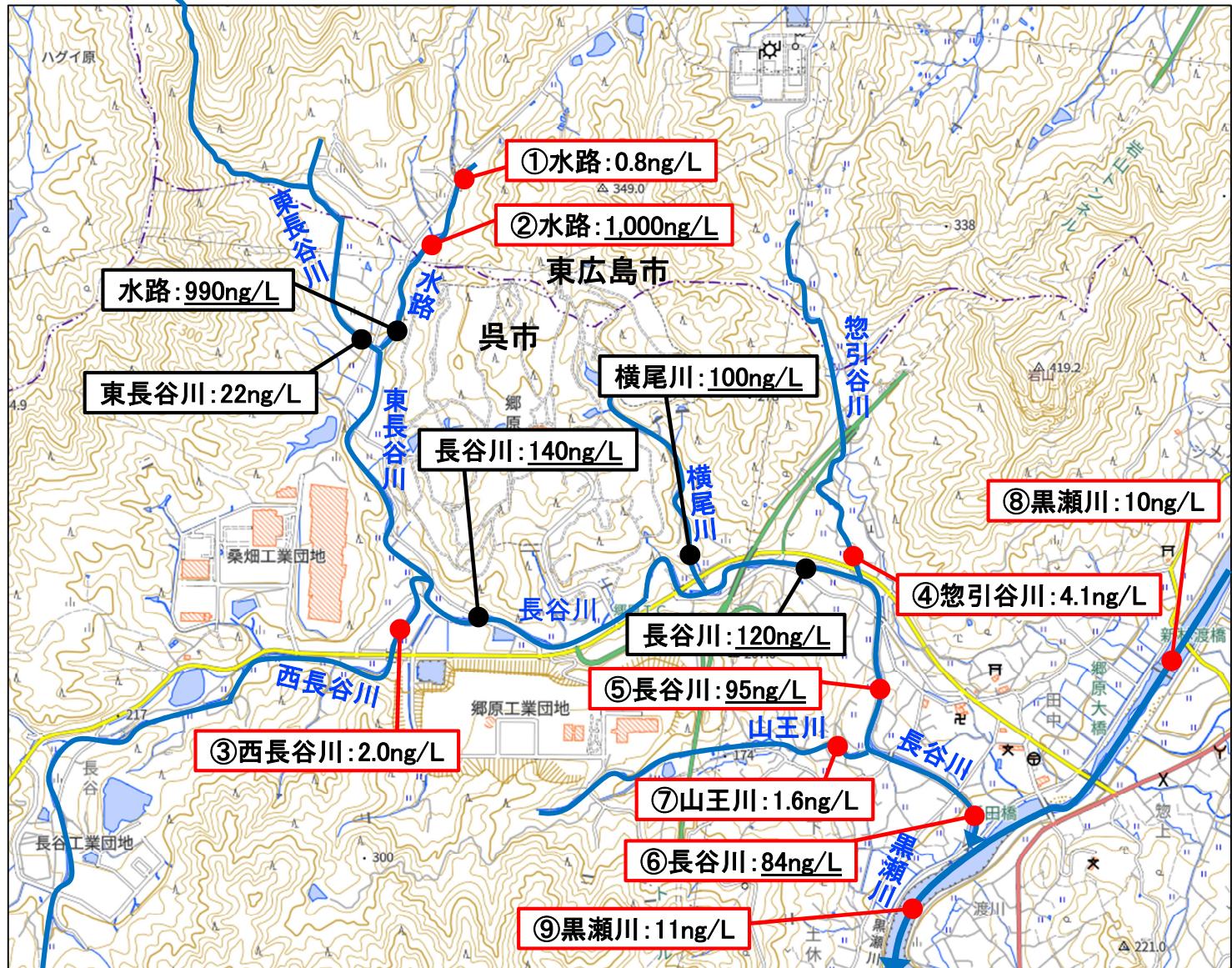
※ 調査結果は有効数字2桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA (合算値)」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しない。

3 今後の対応

- 国が定めた「PFOS 及び PFOA に関する対応の手引き（第2版）」（令和6年11月環境省）に基づき、呉市において超過地点の周辺地域の地下水の利用状況と水質調査を実施する予定であり、県は必要に応じて助言や協力をを行う。

なお、東広島市域の超過地点の周辺地域においては、地下水の飲用利用が無く、指針値を超過した水が飲用に供されている状況がないことを確認済みである。

別図 調査地点位置図 (●10/29 県・吳市・東広島市調査地点、●9/9 吳市調査地点)



電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成